

本大会の審査は、「北海道高体連 登山大会 審査基準（選手用）」をベースにして

http://www.tozan-koutairen.hokkaido-c.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=197

令和3年度登山部報No. 65の「全国高等学校登山大会成績評価実施要領」（P84～86）および、

http://www.tozan-koutairen.hokkaido-c.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=253

「全国高等学校登山大会審査確認事例」（P87～92）

http://www.tozan-koutairen.hokkaido-c.ed.jp/?action=common_download_main&upload_id=254

を参考にして、インターハイの審査に近い形で、行いました。

I 行 動 50点

1 体 力 30点 1日目20点 2日目10点

※審査の観点は、登山部報P87に従いました。

2 歩行技術 20点 1日目 12点 2日目8点

※審査の観点は、登山部報P88に従いました。

II 生活技術 20点

3 装 備 10点

- ・非常食（1つにパッキング・「非常食」明示）・呼笛・お湯沸かしセット・防寒具
- ・ツェルト・修理具（ペンチ・針金・テープ）・細引き・防寒シート 以上1.0点
- ・医薬品の防水処理・体温計・虫刺され薬・テーピング 以上0.5点

非常食：「非常食」と明記がないケースが散見されました。

お湯沸かしセット：コッヘルと燃料はあるもののバーナーがないケースがありました。

防寒具：袋に入れて防水しているもののウインドブレーカーと混同している場合があります。

医薬品の防水処理：タッパのフタが取れやすくなっており、防水しているとは判断できないものがありました。防水機能が効いているかどうかチェックしておきましょう。

テーピング：幅が35mmに満たないケースがありました。十分な太さがあるか確認しましょう。

4 設 営 5点

※審査の観点は、登山部報P89に従いました。

ペグ打ち時手袋なしが多数ありました。けが防止を意識しましょう。

ポールが地面につくと、砂利等が挟まりポールが破損する可能性があります。

雨天での設営を意識し、設営時にはザックの雨蓋を閉じ、まとめておきましょう。

フライシートが強く張られ入り口のチャックが閉まりにくいものも多数ありました。

ザックがテントに寄せすぎ、テントの形自体が変形しているケースがありました。

ザックがテントに押しフライシートに触れていると雨天の時に濡れる原因になります。

張り綱自体をペグと一緒に地面に埋没させてしまっているケースがありました。

設営時に土足でテントを踏んでしまうケースがありました。

今大会では具体的な指摘を審査員から受けたと思います。次に生かしてください。

5 炊 事 5点

レトルト利用が多かったため、調理の手際や防腐対策の工夫等を観察することはできませんでした。今後、本格的な調理ができる時期が来るでしょう。しっかり備えてください。

コンロ台の未設置、コンロ使用時の手袋未着用者が多かったです。

火気を常時管理している人が不在、あるいは管理者が誰か、特定しにくいケースがありました。カートリッジ一体型のバーナーで風防を使用する際は、輻射熱によるガスカートリッジの加熱により爆発の恐れがあるので、バーナーと風防は適切な距離を保ち、全方向を塞がず熱を適度に逃がすようにするとよいでしょう。

衛生シートを使っていないケース、あるいは使っていてもその上でコンロを使用しているケースがありました。コンロは衛生シートと離して使用しましょう。

Ⅲ 知 識 20点

6 ペーパーテスト 12点

- ・今回は「3 S A B C D E」「熱中症」「登山コース」「大雪山国立公園のあらまし」「北海道の天候」について出題しました。結果を見ると、パーティにより大きく得点差があったと読み取れます。
- ・日常からしっかりと知識を身に付けておきましょう。

7 計画書 4点

- ・緊急連絡先 ・薬品リスト ・日程 ・食糧計画 ・装備品リスト
- ・断面図、概念図 ・メンバー ・計画書の紙面量 以上8カ所 0.5点

薬品については、「量」の記載もみました。

食糧計画は、「非常食」「行動食」の記載もみました。

断面図・概念図に「方位」「場所」が記されていないパーティもありました。

8 記録書 4点

- ・黒岳7合目（地点名・時間・天気・メンバーの体調・コース状況や自然観察等の記録）
- ・黒岳頂上・北鎮岳頂上・中岳温泉・裾合分岐（裾合平）・姿見駅・旭岳温泉登山口
- ・各校の休憩ポイント 以上8カ所 0.5点

天 気：天気記号（登山部報No65 P107）を判読できず減点されるケースがありました。

時 間：休憩したり滞在したのポイントであれば到着時間と出発時間を記入、通過ポイントであれば通過時間のみを記入しましょう。例えば通過時間と出発時間を記入するなど、その地点に滞在したのか通過したのか不明瞭なケースがありました。

＊ 今回はできるだけ記録書へ記入する習慣づけをしてほしいとの想いで、上記8カ所それぞれの欄（地点名、天気、時間等）が何も書かれていない場合はその都度減点しました。また、主要地点以外の、事前連絡に含まれない中岳温泉も、記録書への習慣づけという観点で、記載があるかないかをチェックの対象としました。

次年度6月の全道大会は、登山部報 P91 9行動記録（5）に準拠します。

本大会の「中岳温泉」については、中岳温泉通過後の最初のページで「中岳温泉」の通過記録の有無を審査することとなります。（通過時間の記載があるとよりよい・次回の参考に役立つという観点で）

Ⅳ マナー・自然保護・服装 10点

マナー・自然保護の観点では減点はありませんでした。

服装では、

- ・帽子を所持していない、帽子を正しく着用していない、キャップに紐が付いていない
- ・スパッツを着用していない ・腕章がザックに付いている（腕にしていない）
- ・首にかけたタオルが、シャツの外に出ている
- ・ザックカバー着用時に校名表記が無い

で減点しました。

・雨天時にカッパを着用していないチームも散見されました。ずぶ濡れになると低体温症の危険もあります。装備の適切な利用を心がけましょう（減点していません）

（文責：審査委員長 木村宣幸）